

インナー大会プレゼン部門 2018 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) タカサキケイザイダイガク	フリガナ) チイキセイサクガクブ	フリガナ) サトウキミトシゼミナール
高崎経済大学	地域政策学部	佐藤公俊ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) サトウキビ	フリガナ) オオクボ トモカズ	4	無	
さとうきび	大久保 朋和			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

なし

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

研究テーマ (発表タイトル)

インバウンド消費の拡大～クレジット決済の可能性～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

2020 年の東京オリンピックを契機にさらに外国人観光客が増加すると見込まれる中で、訪日外国人の主な決済手段の 1 つにクレジットカード決済である点や訪日外国人観光客の消費額が伸び悩んでいる点に着目し、日本国内においてクレジットカード決済の環境整備が遅れている中で、どのように店舗などにクレジットカード決済の環境整備を推進し、訪日外国人観光客の消費額拡大に繋がられるかに重点を置いて現状分析を進め、最終的に、先行事例を元に団体としてクレジットカード決済の導入・運用に取り組むとした提案を行う

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

現在、訪日外国人観光客数においては政府が目標に掲げた 2020 年までに 4000 万人とする目標の達成は容易であるが、訪日外国人観光客の消費額においても増加傾向にはあるものの、政府が掲げる 2020 年までに年間 8 兆円は困難となっている。その重大な要因としては一人当たりの消費額が横ばい傾向という点にある。しかし、外国人の主な決済手段の 1 つであるクレジットカード決済が日本国内において利用出来ない場合がという事実を把握し、その上で日本におけるクレジットカード決済の環

境整備の現状について事例分析を行い、外国人観光客の定番ルートであるゴールデンルートから富士山と京都市を事例分析の対象として選定した。

富士山においては2006年に本八合目富士山ホテルにおいてUFJニコスと提携を結びクレジットカード決済を開始させており、現在では4か所の山小屋と5合目の売店においてクレジットカード決済が可能となっている。また、富士山入山料（別名：保全協力金）においても今年8月1日から16日の期間においてクレジットカード決済を含むキャッシュレス化の実証実験が行われた。しかし、トイレ利用に現金が必要など、富士山全体ではクレジットカード決済の環境整備は不十分である事が判明した。

また、京都においては、外国人宿泊客数が増加傾向にあることが明白になった反面、京都の主要な観光名所である寺社においてクレジットカード決済の対応率が9.4%と他の観光部門と比較して著しく低い事が明らかになった。また、我々の調査では京都の著名な寺院の拝観料は現金のみでしか決済を対応していない事を認識した。一方で、京都国立近代美術館において今年の1月よりクレジットカード決済対応が開始されたことより京都においても観光地によって取り組み方に差があることが明らかになった。

3. 研究テーマの課題

日本におけるクレジットカード決済環境の進展を阻む要因としては観光地ごとにおけるクレジットカード決済の環境整備への取り組み方に差が生じている点、またクレジットカード決済の環境整備が比較的行われている観光地においても完全ではない点が挙げられる。では、なぜクレジットカード決済の整備が進展しないのであろうか。その主な原因としてクレジットカード決済における導入、運用のコストが大きいことが挙げられる。導入コストにおいてはクレジットカード決済端末が1台当たり4万～8万円の費用が発生し、また運用コストとしてはカード会社への毎月の手数料が3～5%かかることが判明した。またクレジットカード決済を導入する店舗の現状としては手数料の支払い作業やカード会社別への手数料の入金確認などの事務により資金も人員も割かれる現状が浮上した。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

私たちは解決策として個人としてではなく団体としてクレジット決済の端末の導入・運用に取り組むことを提案する。団体はここでは商店街などの組合などを考えている。団体の業務は個々の店舗で行われていたクレジット決済に関する事務やさらに店舗の売上集計支払い業務などといった事務を一元化する。これによって手数料を下げられることが先行研究で分かっている。この取り組み方による効果としては個々の店舗の事務処理の負担が減ることによる仕事の効率化・手数料が下がり導入しやすくなることと団体として取り組むことによる加盟店の増加によるクレジット決済の機会の増加が考えられる。そのため、手数料を下げてもカード会社にも利益を出せるので交渉がしやすくなるのではないかと考えた。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

主に文献調査を行いました。本や雑誌、観光庁や経済産業省などの資料を主に扱いました。

6. 結果や今後の取り組み

今回私たちが提案したことは一例にすぎないと思っています。クレジット決済やキャッシュレス化が進まない要因は他にも現金に対する信頼の高さであったり、国民性であったり様々なことが考えられます。しかし、外国人観光客を受け入れていくためには、現金以外の決済手段の充実は大切なことであると思います。私たちは今後もあらゆる面からのクレジット決済の環境整備について考えていきたいと思っています。

7. 参考文献

- ・観光立国推進基本計画 改訂（2017年3月28日閣議決定）
- ・訪日外国人消費動向調査（2018年7月18日 観光庁）
- ・外国人旅行者に対するアンケート調査結果について（観光庁 2014年）

- ・「観光立国実現に向けたクレジットカード業界としての取組」(2016年1月14日 日本クレジットカード業界公表)
- ・京都観光総合調査 (京都市 平成28年)
- ・富士山における外国人登山者動向把握調査業務報告書 (公益財団法人 日本交通公社 平成27年)
- ・キャッシュレスの現状と今後の取組 (経済産業省 平成30年5月)
- ・キャッシュレス・ビジョン (平成30年4月 経済産業省)
- ・「観光地におけるキャッシュレス決済の普及状況に関する実態調査」(株式会社野村総合研究所 2016年)
- ・「UFJ ニコス、3400メートルでカード決済、山小屋と契約」 (2006年6月27日 日本経済新聞 山梨県版)
- ・山梨県、富士山入山料の協力率アップへ 電子マネーを試験導入へ (産経新聞 2018年5月29日)
- ・まちげんき URL:<https://www.machigenki.go.jp/content/view/915/367/>

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様(株式会社日経BPマーケティング)に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合は、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・株式会社日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを4ページ以内におさめて、ご提出ください